

# 血液検査部門 《凝固》

磐田市立総合病院 佐藤政季

# 調査内容

## ■ 試料

【 試料21 】 ヒト由来正常域凍結血漿

[ 期限切れ新鮮凍結血漿製剤 ]

【 試料22 】 ヒト由来異常域凍結プール血漿

[ PT延長ワルファリンカリウム服用患者の残余検体をプール ]

## ■ 調査項目

PT( 秒 ・ % ・ INR ) ・ APTT( 秒 ) ・ Fib

## ■ 調査方法

参加施設全体及び試薬ごとに集計、評価は実施せず

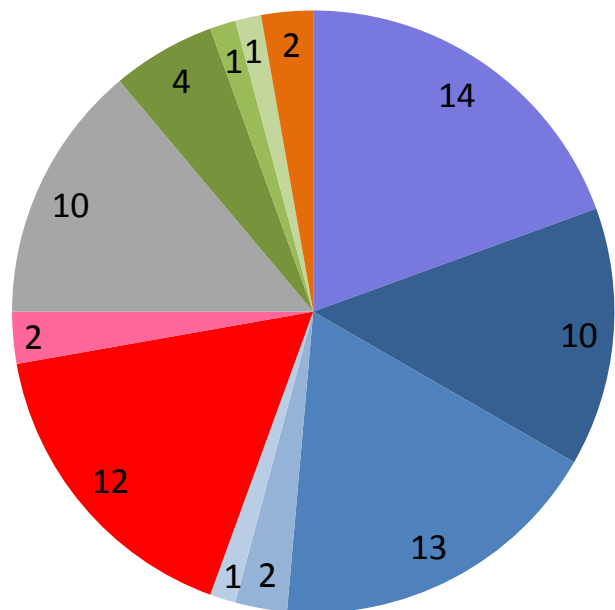
全体集計は、平均値±2SDを超えたデータを1回除外し集計したのを補正後とした。

# 調査結果

## ■ 参加施設数

項目	H28年度	H27年度	H26年度
PT	72	72	69
APTT	70	68	65
Fib	60	59	58

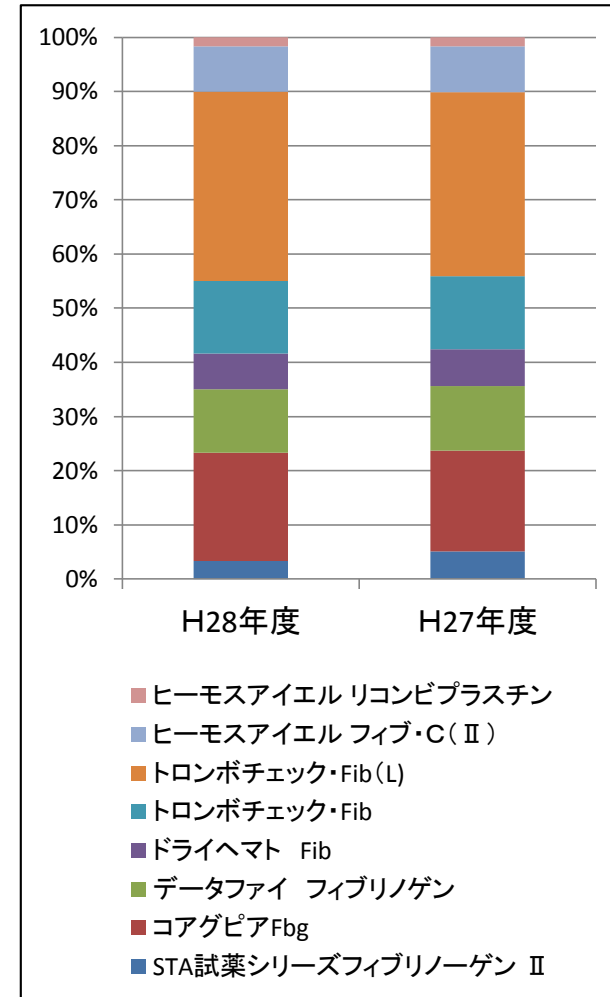
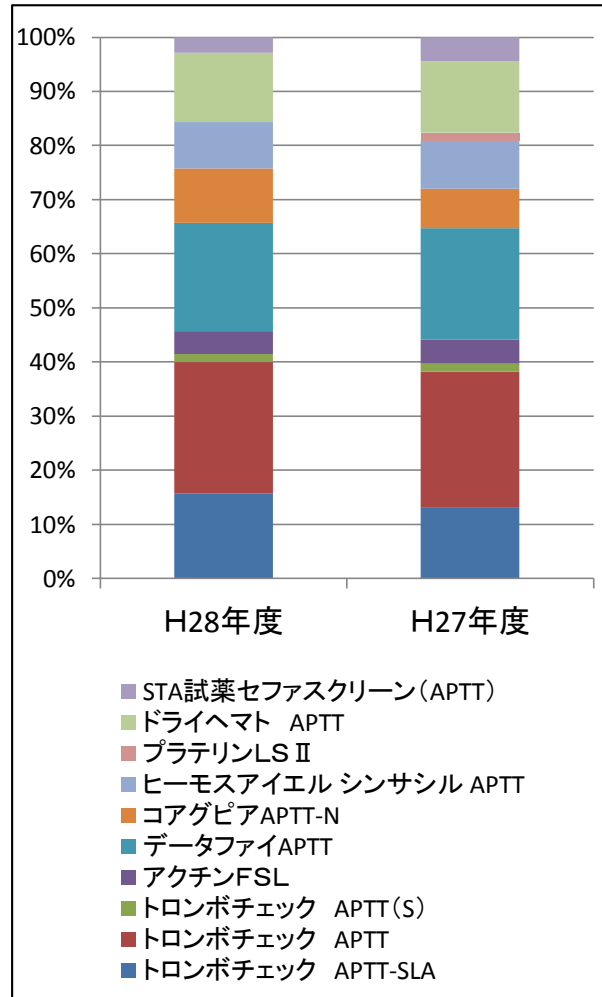
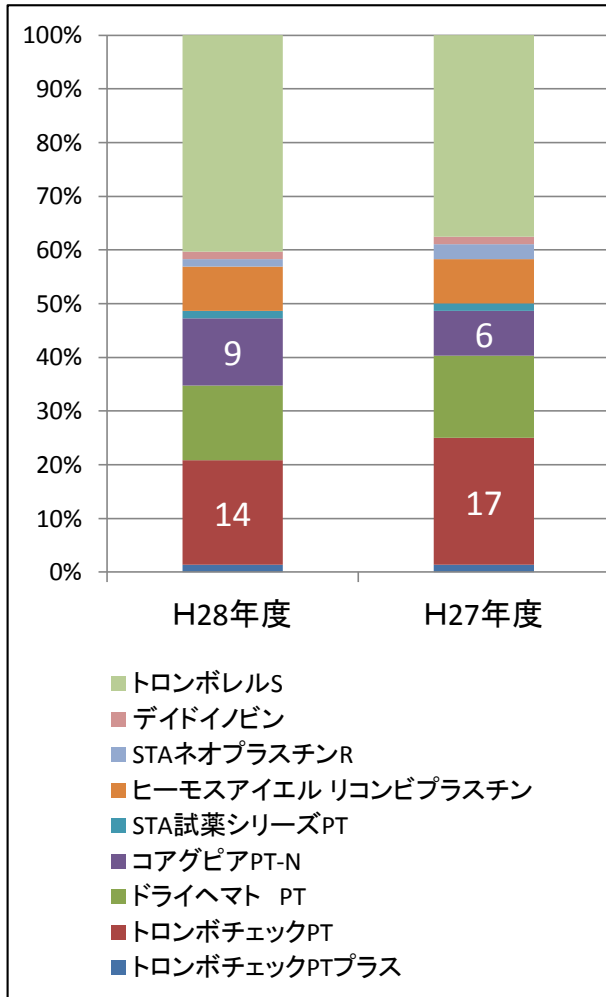
## ■ 測定機器 使用状況



- シスメックス KAB502
- シスメックス KAB503
- シスメックス KAB505
- シスメックス KAB506
- シスメックス KBB502
- 積水メディカル KAR201
- 積水メディカル KAQ303
- エイアンドティー 和光純薬 KBA301
- LSIメディエンス FAD004
- LSIメディエンス KAD002
- LSIメディエンス KAD004
- ロッシュ・ダイアグノスティクス KAJ701

# 調査結果

## ■ 測定試薬 使用状況



## 調査結果

### ■ 標準血漿,正常域・異常域管理血漿 未使用状況

		PT		APTT		Fib	
		H28	H27	H28	H27	H28	H27
標準血漿	不要	10	16	9	34	4	9
	未使用			29			
正常域管理血漿	未使用	4	12	5	9	2	5
異常域管理血漿	未使用	8	14	9	11	5	7

数値をみる限りでは減少、ただし未入力施設が多くあると思われるため、実際のところは不明。

※今年度も複数施設が未入力、検量線作成が不要であるドライヘマト以外を採用している標準血漿未入力施設には問い合わせや調査を行いました。  
H27も未入力が多いだけか？ 来年度はお願いします。

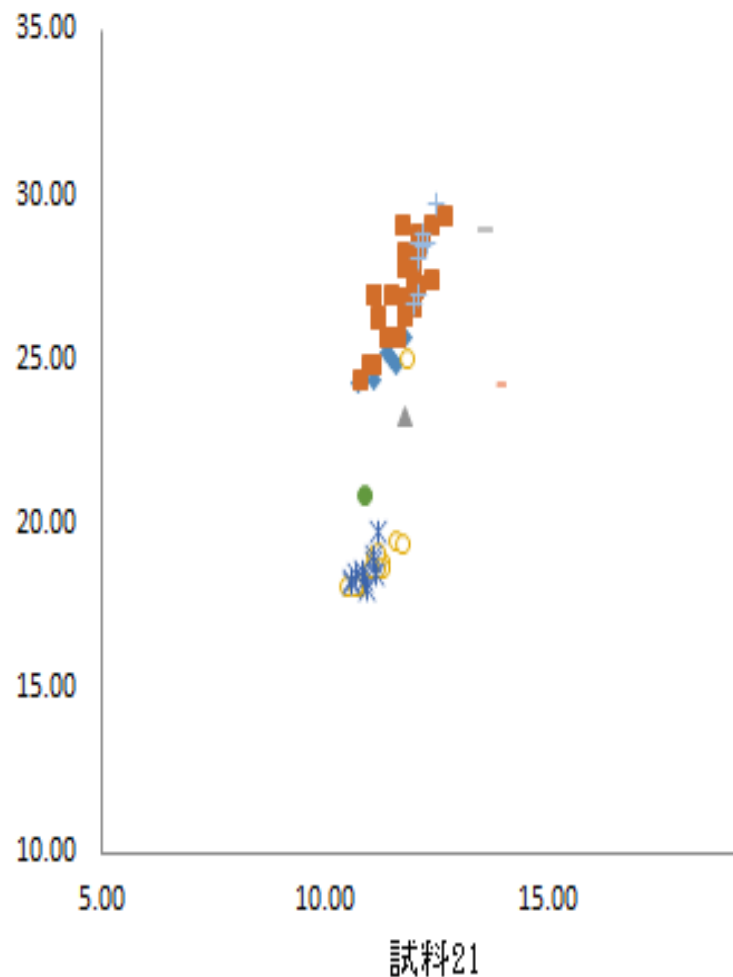
# 全体集計結果(補正後、H28+H27)

		P T						
		試料21			試料22			I S I
		秒	%	I N R	秒	%	I N R	
H28	N	70	65	70	72	68	68	72
	MEAN	11.52	100.17	1.00	24.19	28.57	2.31	1.23
	SD	0.55	5.22	0.03	4.08	4.44	0.13	0.29
	CV	4.76	5.21	3.32	16.87	15.54	5.57	23.44
H27	MEAN	12.03	91.27	1.05	23.70	28.78	2.28	1.26
	SD	0.86	5.49	0.03	2.76	4.70	0.30	0.32
	CV	7.16	6.02	3.27	11.66	16.33	13.13	25.22

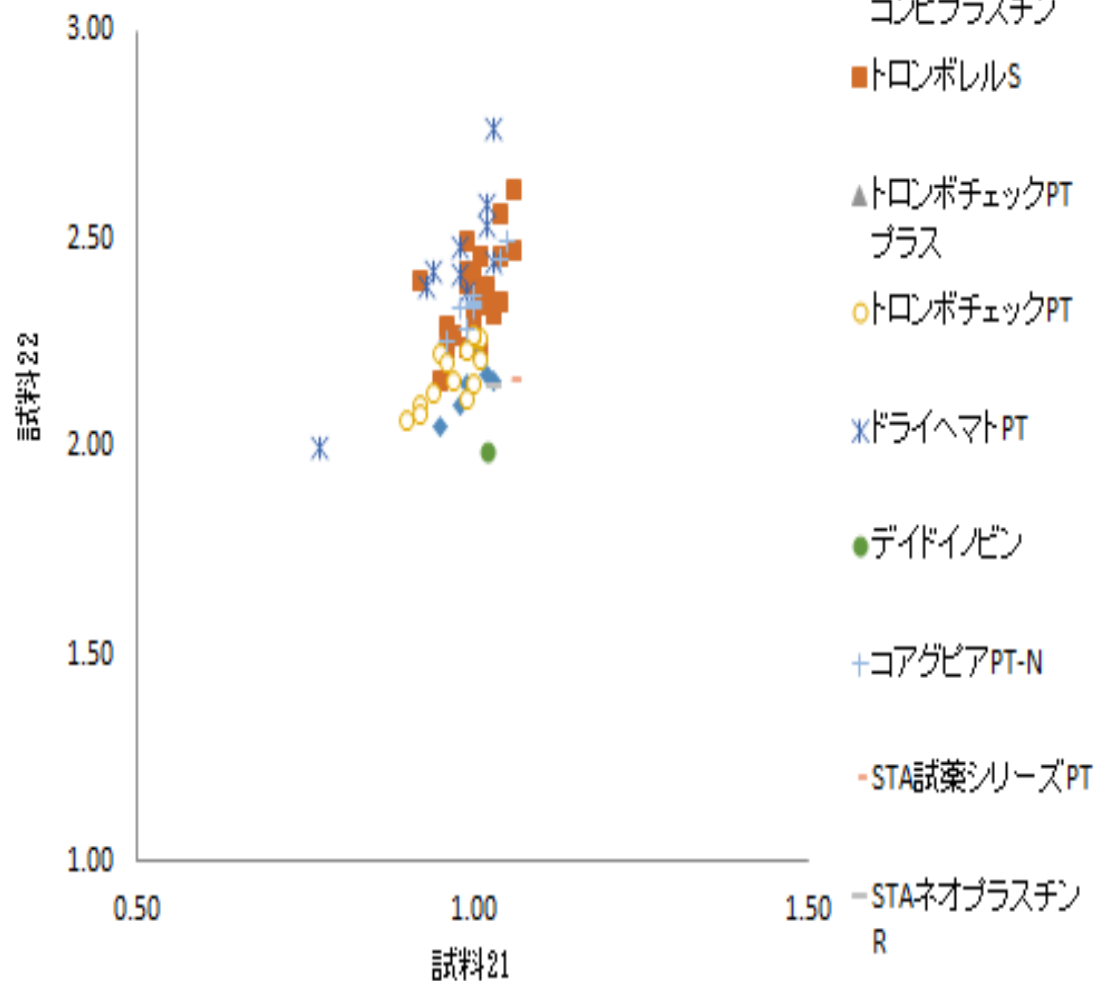
		A P T T (秒)		F i b	
		試料21	試料22	試料21	試料22
H28	N	66	65	58	58
	MEAN	29.64	47.81	244.09	341.72
	SD	2.44	4.98	17.41	25.81
	CV	8.23	10.42	7.13	7.55
H27	MEAN	32.19	52.93	273	311
	SD	1.88	6.75	20.93	33.89
	CV	5.84	12.75	7.67	8.01

# 試薬別集計 ≪ PT 散布図 ≫

PT (秒)

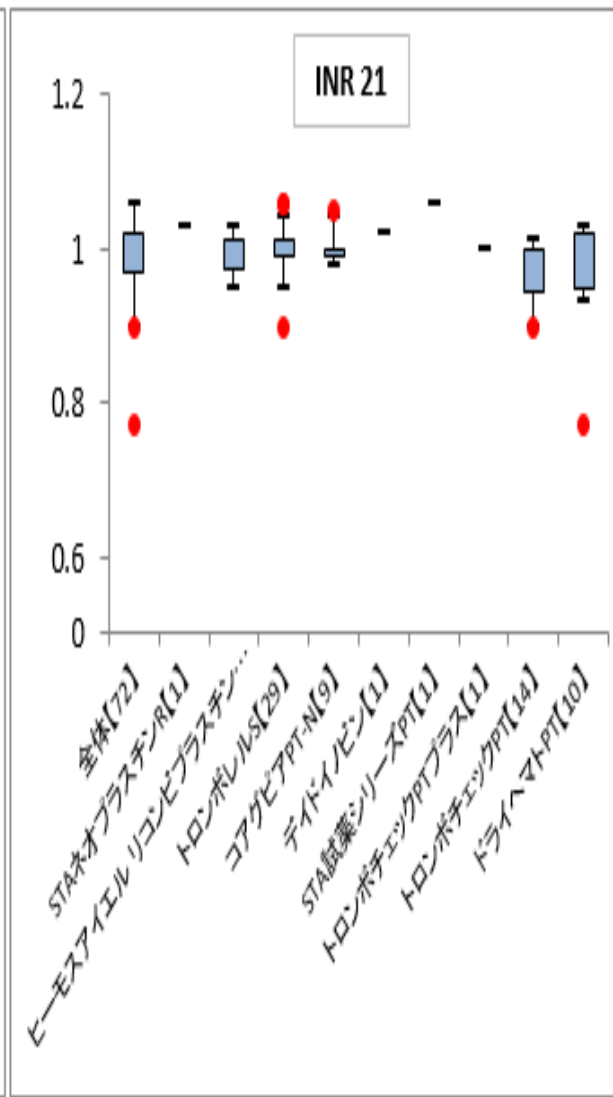
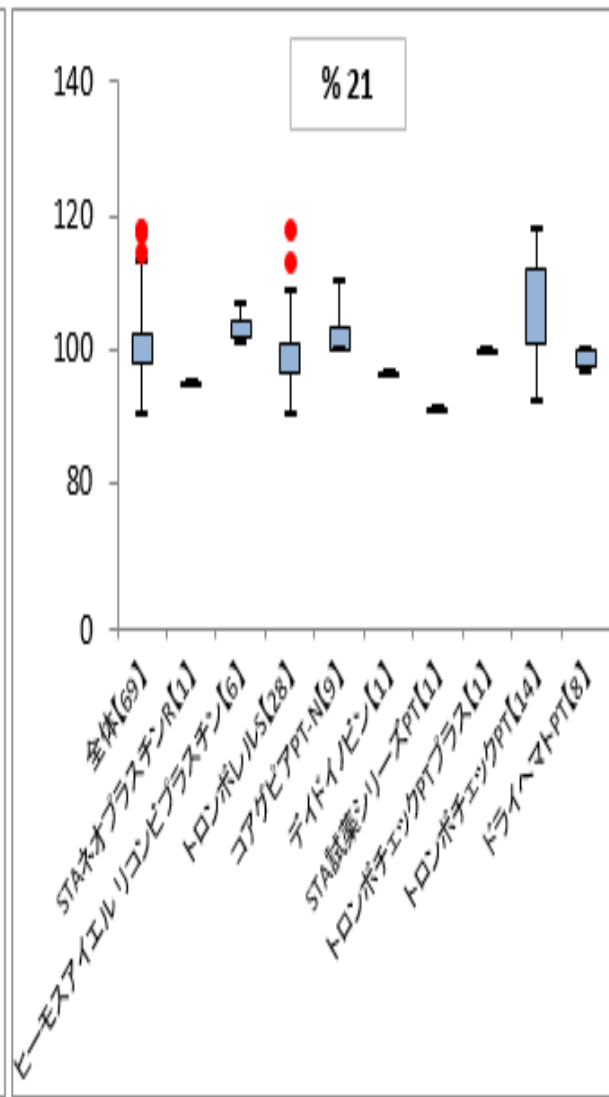
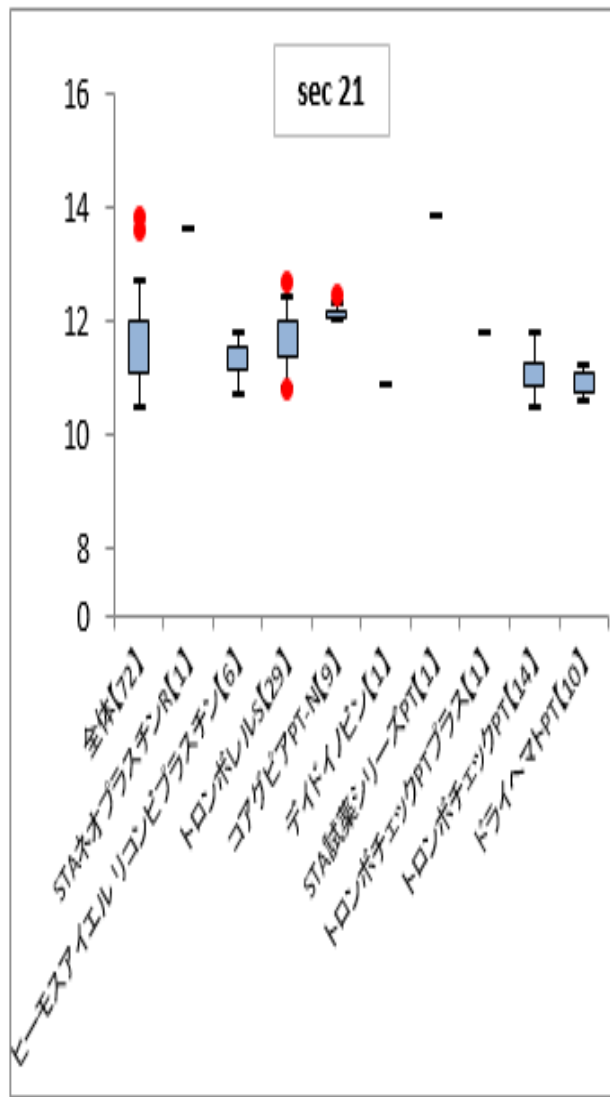


PT (INR)



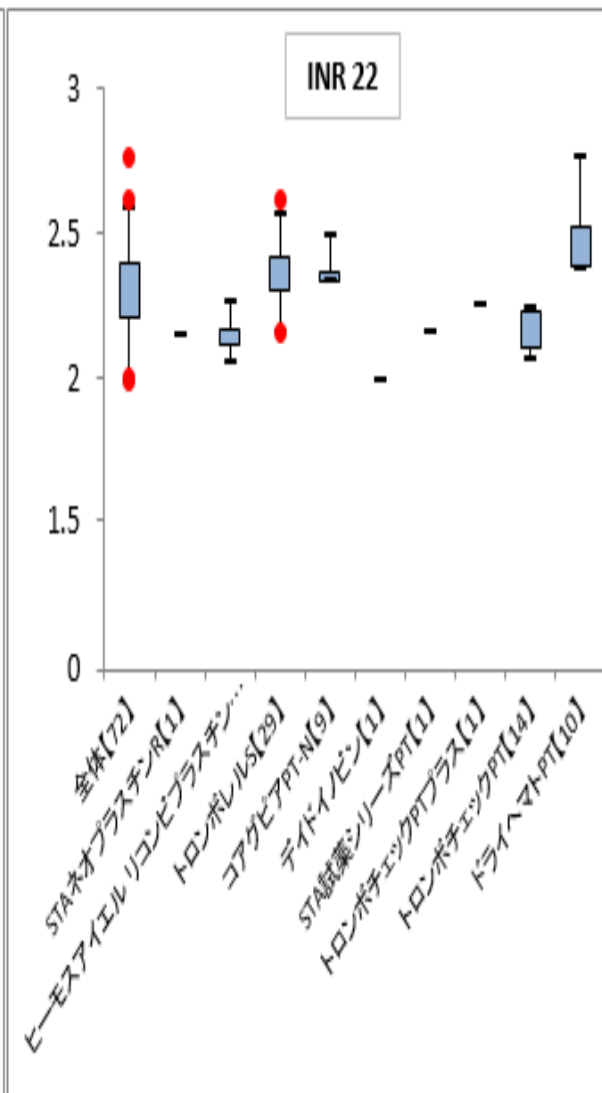
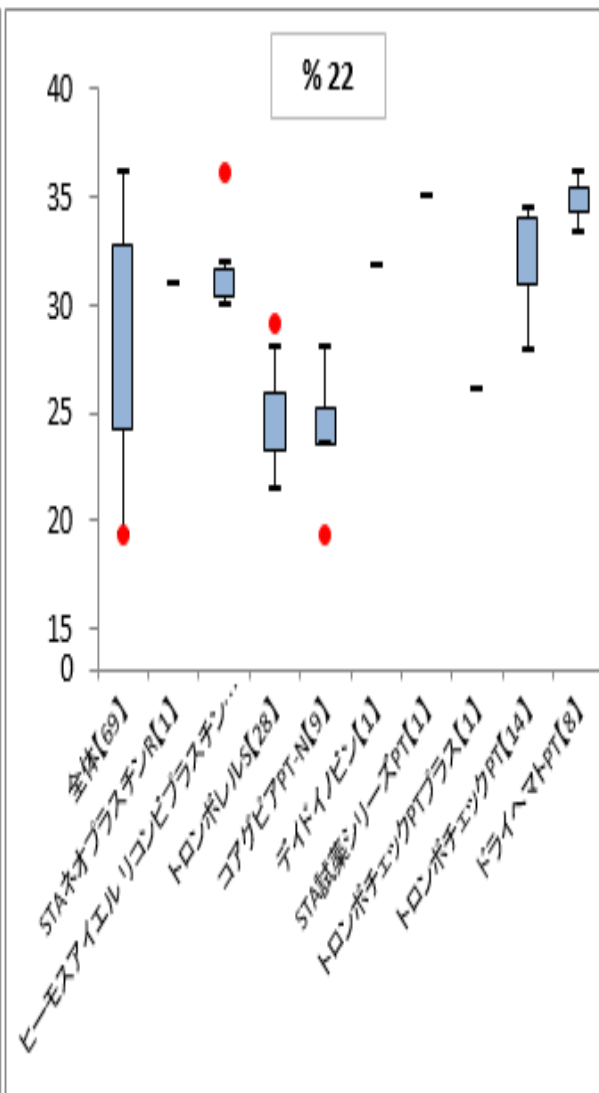
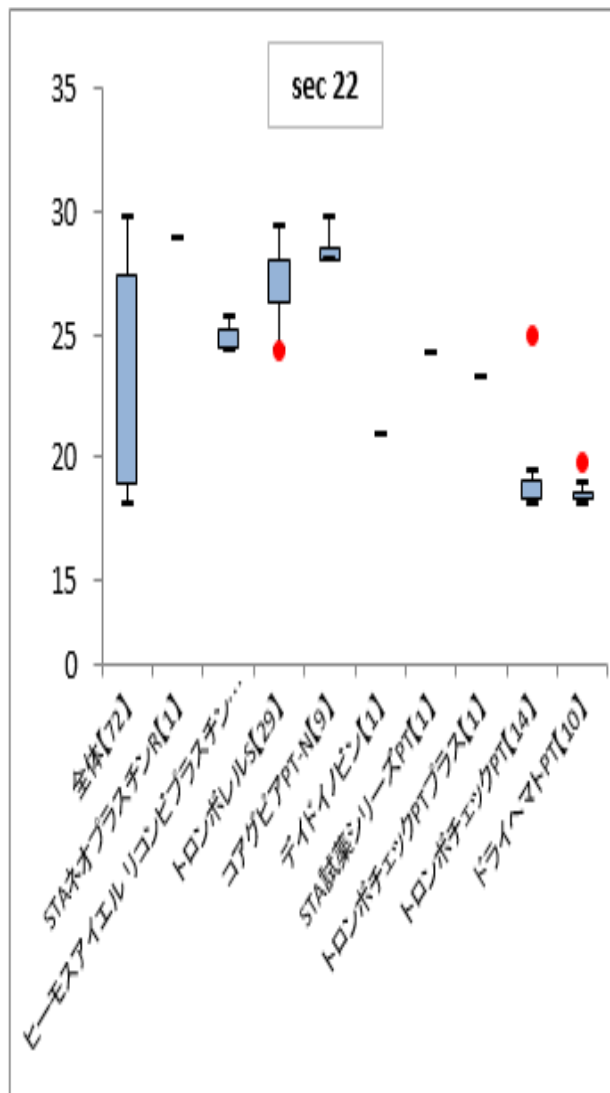
- ◆ヒモスアイエルリ  
コンビプラスチン
- トロンボレルS
- ▲トロンボチェックPT  
プラス
- トロンボチェックPT
- ✱ドライヘマトPT
- デイドイベン
- +コアグピアPT-N
- STA試薬シリーズPT
- STAネオプラスチン  
R

# 試薬別集計 ≪ PT 試料 21 ≫

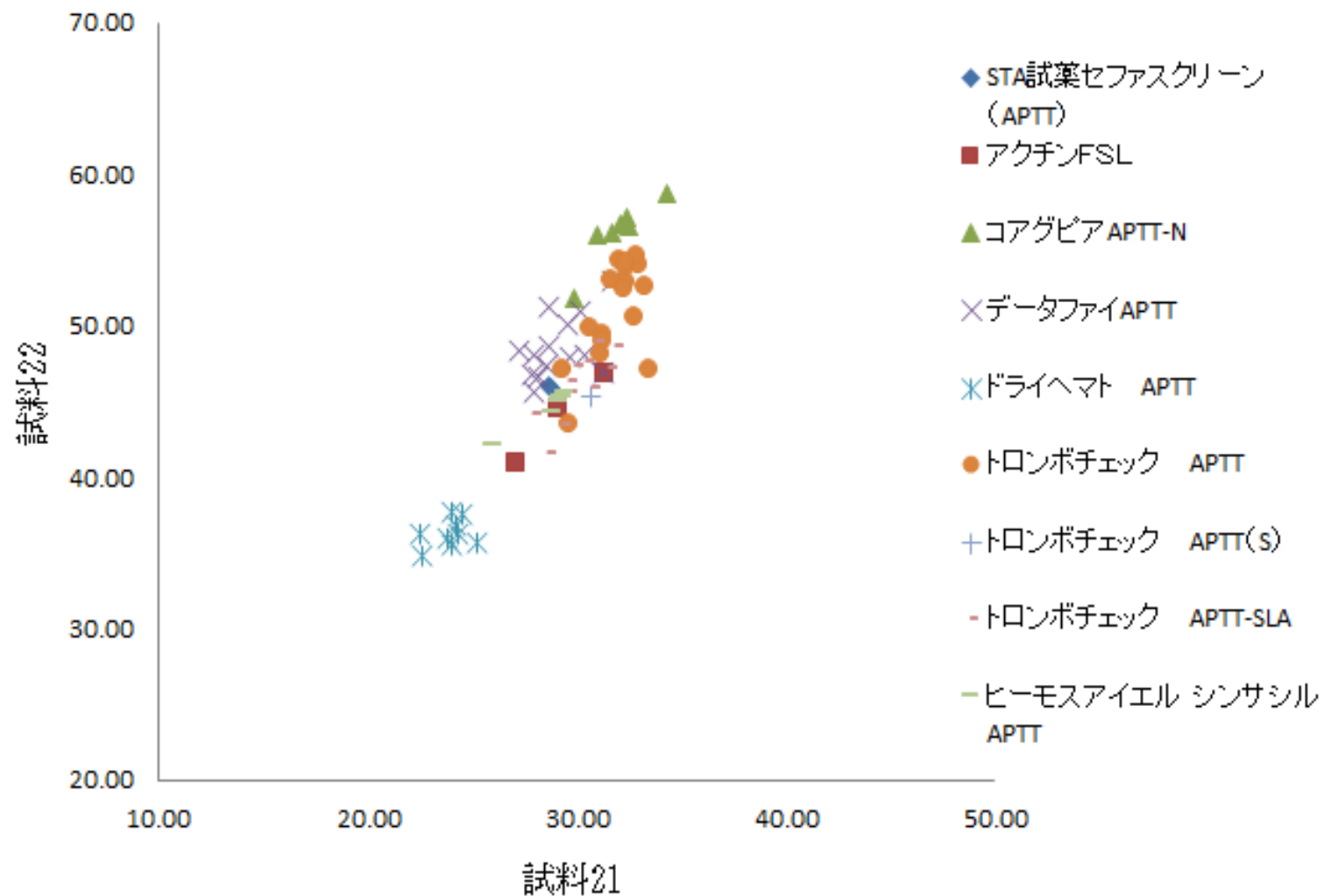




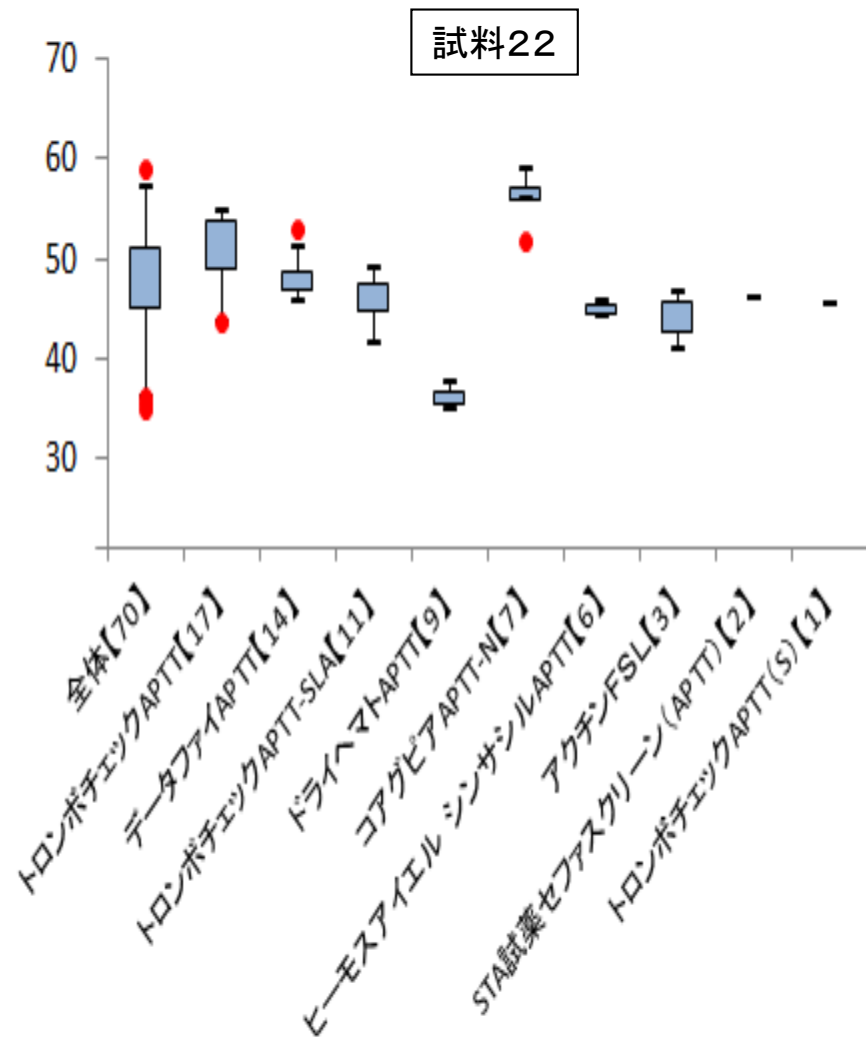
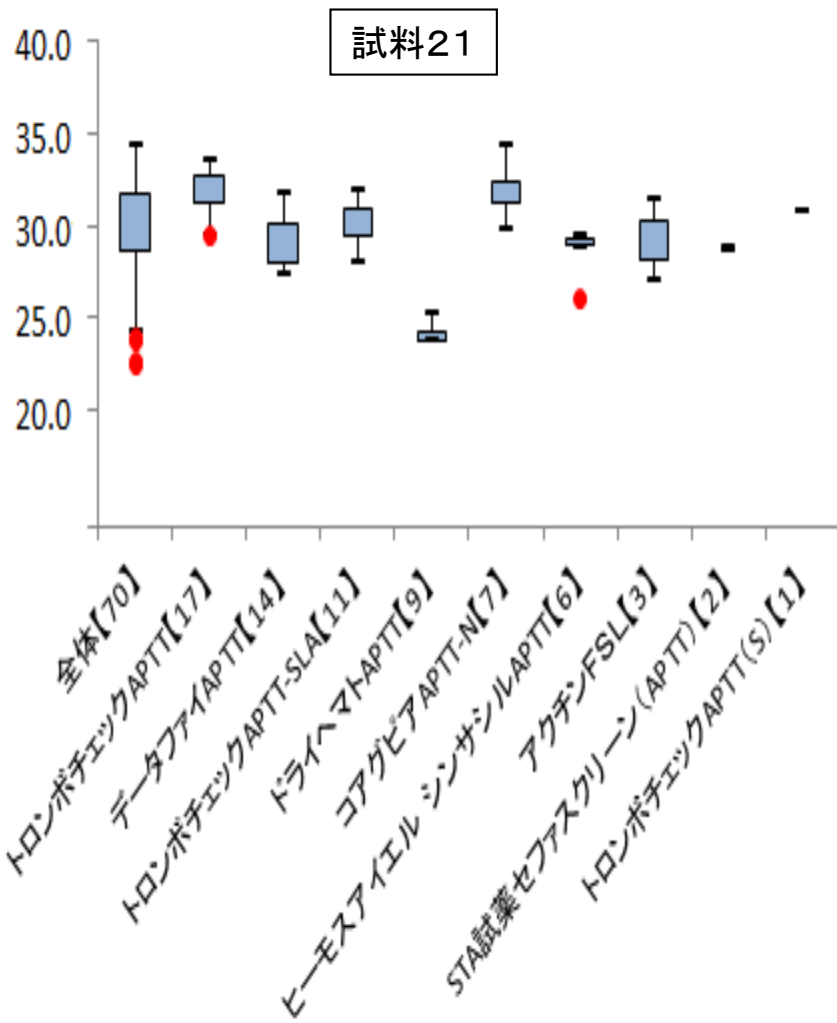
# 試薬別集計 ≪ PT 試料 22 ≫



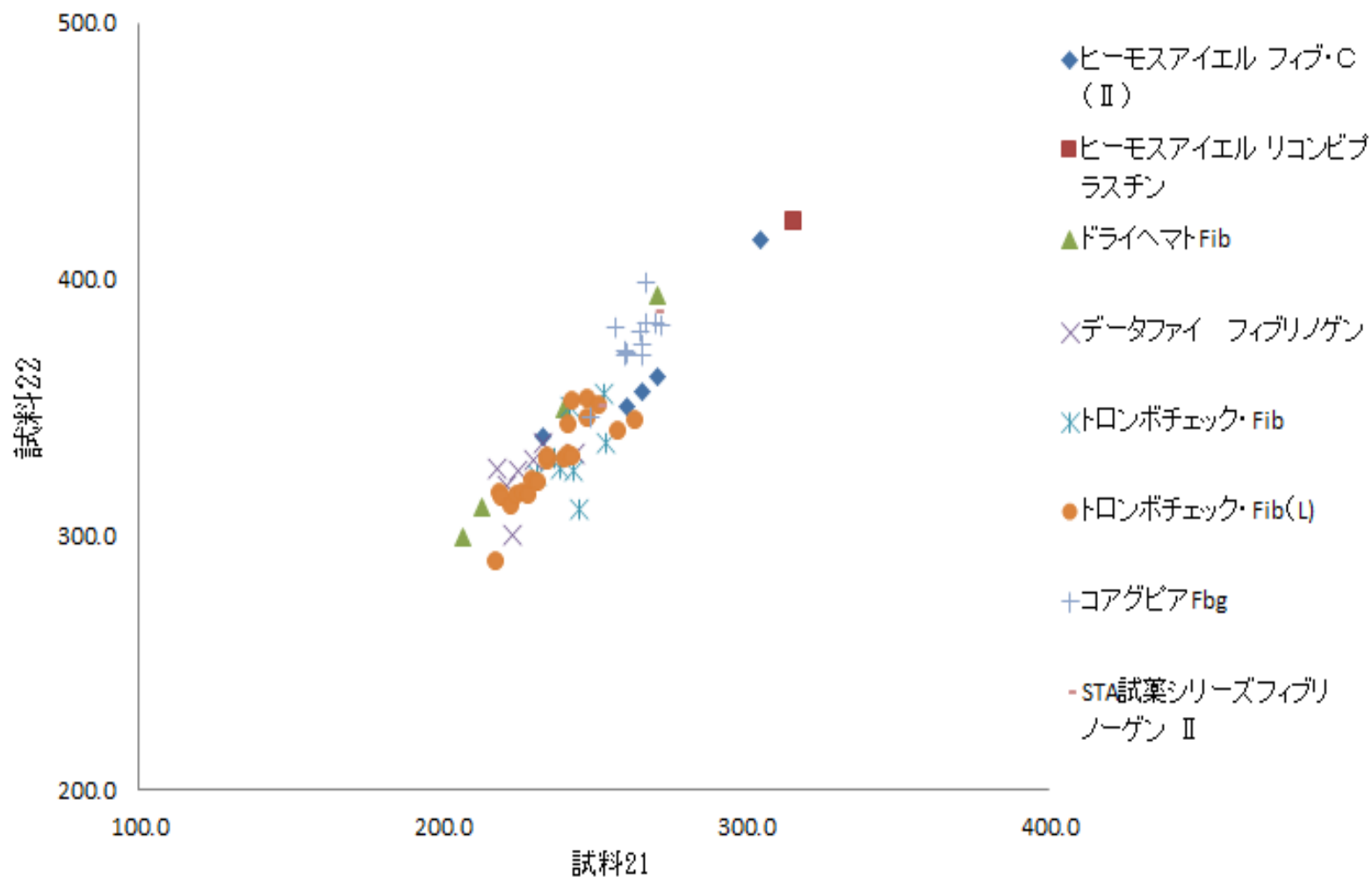
# 試薬別集計《APTT sec 散布図》



# 試薬別集計 ≪ APTT sec ≫

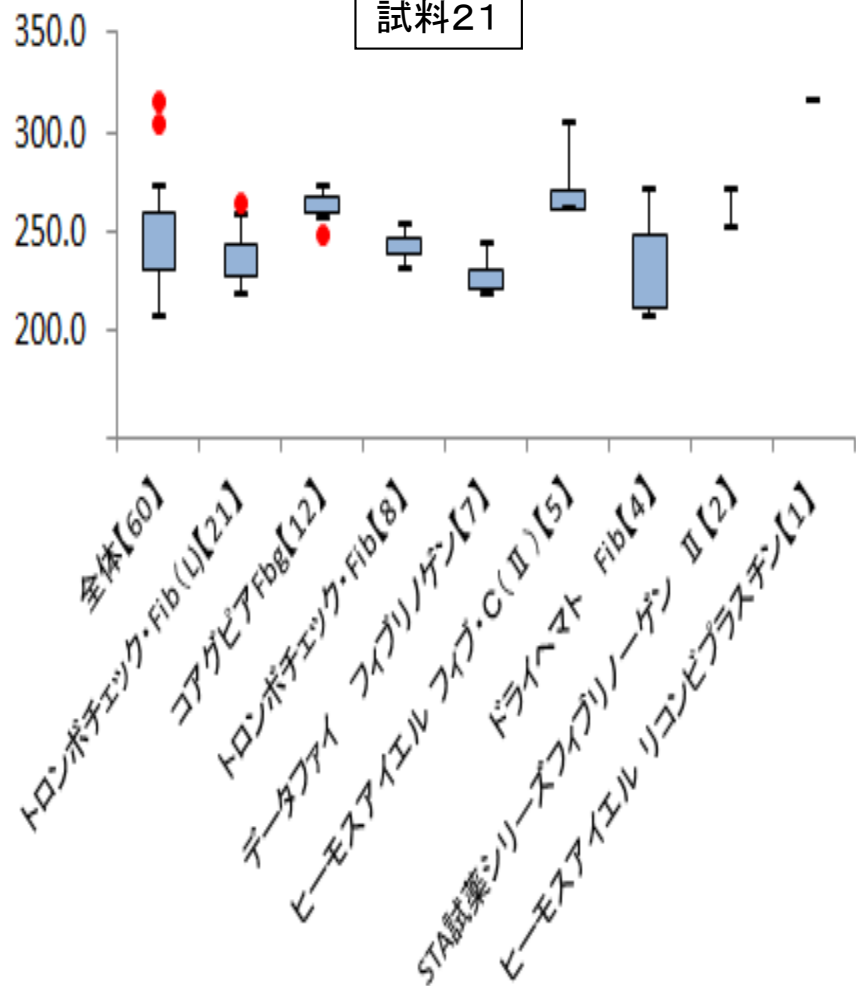


# 試薬別集計 ≪ Fib 散布図 ≫

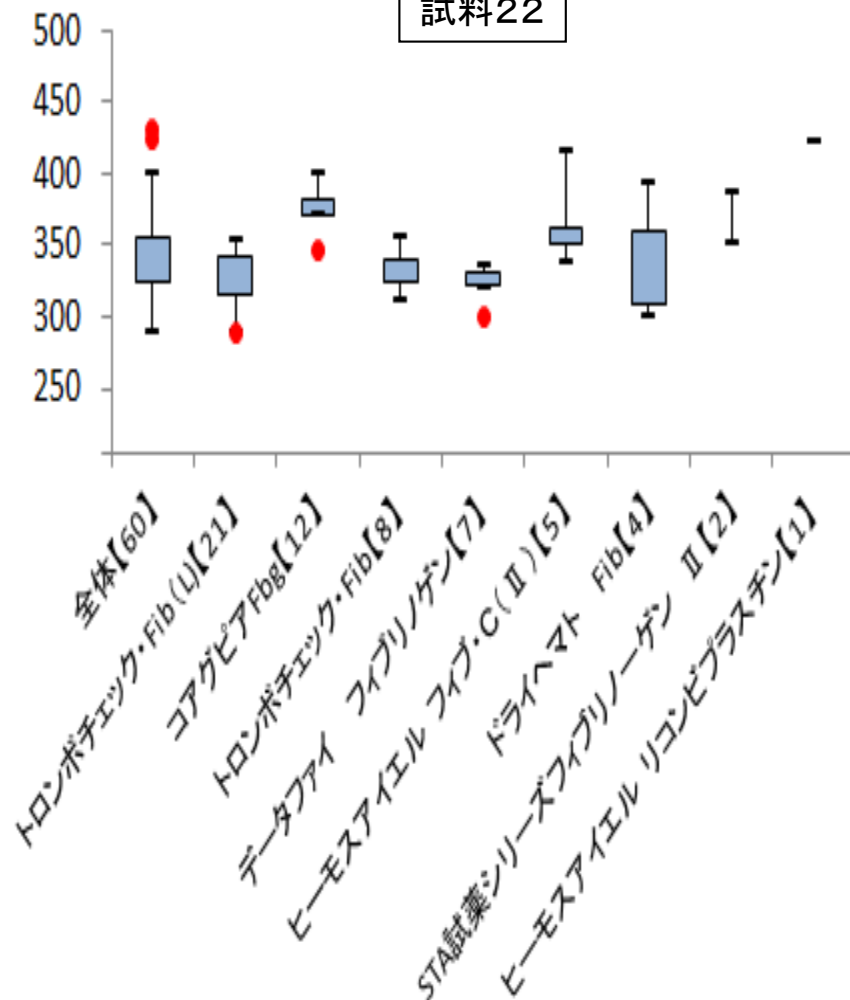


# 試薬別集計 ≪ Fib ≫

試料21

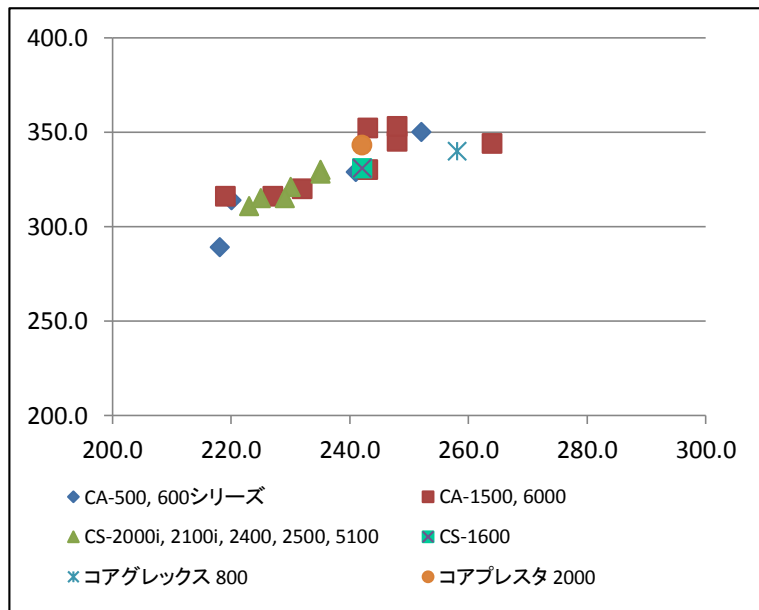


試料22

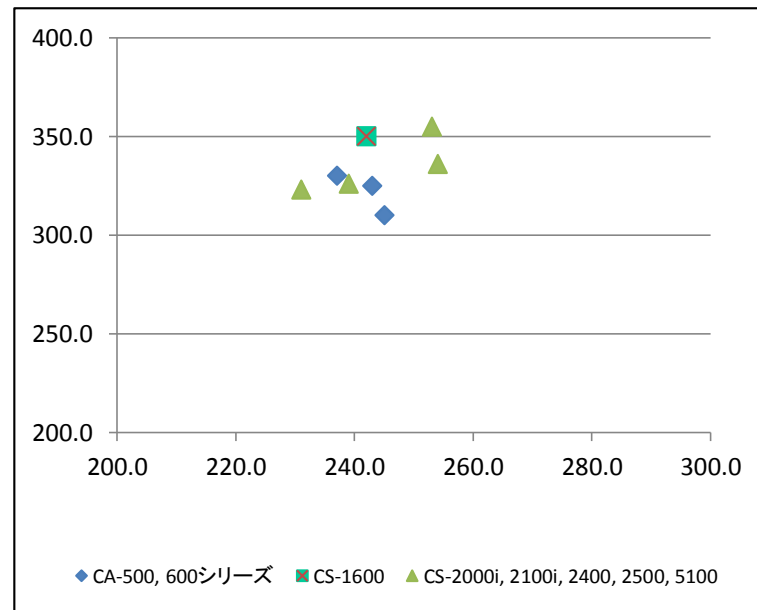


# 試薬別集計《Fib》

## トロンボチェック・Fib(L)



## トロンボチェック・Fib



一般的に、乾燥試薬は溶解誤差により液状試薬よりバラツク(CV値が高くなる)とされていますが、今調査では Fib(L):5%・Fib:3%と逆の結果になりました。

# まとめ

## ■ 参加施設全体集計について

◆ 試料22のPT-INRが 昨年度と比べ大幅に収束した(CV : 13.13 → 5.57)。  
その他の項目は概ね例年並みの結果であった。

⇒ 試料22をワルファリンカリウム服用者に限定した事が要因と考える。

◆ 試料21のPTは、秒・%・INR どれにおいても良好な結果(昨年度と同等)であった。

⇒ 今回、試料を昨年度までの健常者プール血漿から新鮮凍結血漿製剤に変更したが、これによる影響・不具合は認められなかった。

◆ APTTのCV値が他項目と比べて大きかったが、試薬毎では3~6 %と良好であった。

## ■ 試薬別集計について

◆ PTにおいて、ISI値1.0付近の試薬への移行が進んでいた。

◆ PT・APTT・Fib それぞれに試薬間差が認められた。